

九州観光推進機構 活動レポート

— 2011年10月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 9月のトピックス

○ 韓国「ビジット・ジャパン韓国商談会2011釜山」に参加（9月1日：釜山広域市）

JNTO（日本政府観光局）主催による「ビジット・ジャパン韓国商談会 2011 釜山」が行われ、日本側から当機構など32の観光関係機関・企業、釜山側は43の旅行会社が参加しました。これは6月にソウル特別市で開催された商談会を釜山広域市でも行うものであり、当機構は釜山の旅行会社に対し九州観光の魅力について説明を行うとともに、現在の予約状況や今後の予約動向の確認を行い、訪日旅行対策について協議しました。



今後も現地で九州観光情報の発信を強化することにより、より多くの観光客誘致が期待できます。

○ 中国「天津国際観光産業展示会」に出展（9月2日～4日：天津市）

中国国家旅遊局などの主催による「天津国際観光産業展示会」に九州のブースを出展し、九州の観光PRを行いました。期間中、ブースを訪れた多数の市民への九州観光情報の効果的なPRに努めましたが、今回の出展を通して、九州の知名度が依然低いことがわかりました。



天津市は九州に寄港するクルーズ船の発着港となっているほか、福岡との間に航空便も有している有望な市場であるため、今後も引き続き同市でのPR等に努め、九州の知名度向上を図ります。

○ 中国「広東国際旅游産業博覧会(CITE2011)」に出展（9月2日～5日：広州市）

中国国家旅遊局などの主催による「広東国際旅游産業博覧会（CITE2011）」に出展し、九州の観光PRを行いました。期間中に旅行業関係者が集まる開催日には、多くの旅行会社と商談を行い、九州が問題なく旅行できることを説明しました。

また、一般の方々の来場日は、多数の市民が九州のブースを訪れ、九州の観光情報を効果的にPRすることができました。

広東省は、急速に経済発展を遂げている地域で富裕層も多く、旅行を含め消費意欲が旺盛であることから、今後も引き続き、同省でのPRに努め、誘客拡大を図ります。



○ シンガポール・メディアを招請（9月4日～18日：シンガポール）

シンガポールで唯一の民放メディア会社「Media Corp Singapore」の取材班7名を招請し、魅力的でユニークな九州の鉄道をメインに九州の観光地の取材を行いました。シンガポールではあまり知られていない九州の鉄道を効果的にアピールできました。

また、民放（テレビ局）の「人とのふれあい」を重視した番組制作は、九州の温かい「おもてなしの心」と調和し、より効果的なPRが期待されます。今回の取材は10月下旬の2週にわたって放送されます。（火曜日 20:00～21:00）



○「ロイヤルカリビアンクルーズ事業説明会・歓迎会」を開催（9月5日：福岡市）

中国からのクルーズ航路を開設している、ロイヤルカリビアンクルーズ社幹部等の出席のもと、2012年度の「ロイヤルカリビアンクルーズ事業説明会・歓迎会」を、九州運輸局との共催により開催しました。

同社からは、来年から新たにアジアクルーズに投入する13万トン級大型客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」（定員3,838人）などについての説明があり、来年度は九州に20回程度寄港する計画が発表されました。

また、国内からは九州内外の行政及び旅行会社等関係者約70名の参加があり、来年の同社の運航計画等について活発な質疑応答が行われました。中国からの観光客誘致では、クルーズが非常に大きなウエイトを占めており、今後も市場の拡大が見込めるため、引き続き同社と良好な関係を維持し、中国からのクルーズ誘致を図っていきます。



○シンガポール「九州物産展(Autumn Kyushu Fair 2011)」に出展（9月6日～19日：シンガポール）

シンガポール伊勢丹スコッツ店で開催された「九州物産展（Autumn Kyushu Fair 2011）」に九州の観光ブースを出展し、九州に関心を持つ一般消費者向けに、九州の豊富な観光資源をPRしました。9月16日～18日の3日間は、九州で有名な似顔絵イラストレーター「たおゆか」氏を招いて、九州旅行や九州物産を購入したお客様にイラストをプレゼントする特別イベントを実施しました。

九州の物産販売は、前年比110%と、今年3月の震災後、現地伊勢丹の物産展では初めて2桁の伸び率となりました。



○韓国「日韓交流おまつり2011 in ソウル」に出展（9月25日：ソウル特別市）

ソウル市庁前広場で開催された「日韓交流おまつり2011 in ソウル」に機構ブースを出展し、九州の観光PRを行いました。当イベントは、九州に関心を持つ一般消費者向けに九州観光をPRするものであり、震災後の九州観光への不安を払拭するとともに、九州各県の豊富な観光資源を直接アピールできました。

ブースでは、浴衣の着付け・記念写真撮影、九州各県の銘酒の試飲、じゃんけん大会による九州各県の特産品プレゼント等のイベントを行い、多くのソウル市民に楽しんでいただくなど盛況でした。

今回の出展を通じて、九州への訪問の頻度は依然低いことが確認されたため、今後も九州観光PRを強化していきます。



○「地域活性化総合特別区域」指定を申請（9月27日）

「総合特別区域法（平成23年6月29日法律第81号）」の8月1日施行に基づき、九州7県と共同して、アジア言語の通訳ガイドの量的不足解消等を目的に、「特区ガイドの創設」「留学生の特区ガイドとしての活用」に向けての規制緩和などを内容とする「地域活性化総合特別区域」指定の申請を9月27日付で行いました。

今後実施される国の審査とヒヤリングを経て申請内容が認められると、今年12月末には総合特別区域として指定が受けられることになり、国家試験を受けることなく、機構が行う研修等の受講によりガイドを行うことができます。

詳細は、当機構HP「お知らせ」の「地域活性化総合特別区域の指定申請について」をご覧ください。

<http://www.welcomekyushu.jp/whatsnew/?mode=detail&id=127>

申請内容（3つの規制緩和）
◆アジア言語の通訳ガイドの量的不足の解消 ①通訳案内士法第36条の規制緩和 →九州エリアに認定した有償ガイド（「特区ガイド」）の創設 ②出入国管理及び難民認定法第19条第2項の規制緩和 →留学生の「特区ガイド」としての活用
◆地域の魅力ある旅行商品の企画提案の一層の促進 ③旅行業法施行規則第1条の2の規制緩和 →第三種旅行者による「発着地までの移送手段も兼ねた企画」が可能

○ 台湾・イベント開催に合わせた九州観光PRを実施（9月28日～10月11日：台中市）

台中の日系の百貨店（廣三崇光百貨）主催による九州を中心とする日本の物産展において、九州観光をPRするブースを設置しました。会場では、九州の楽しい列車の旅を掲載したチラシの配布、タブレット型PCを用いた観光説明、ジャンケン大会等によるノベルティの提供、九州観光のDVD上映などを行い、一般消費者に向けた九州観光情報を発信しました。



また、10月1日～3日は、熊本県山鹿市の山鹿灯籠踊り保存会の5名が踊りを披露し、九州により一層の親近感を持っていただくとともに、九州のイメージ向上に寄与しました。

○ 集英社取材協力・特集発行（9月）

集英社「エクラ」の特集「黒田知永子 九州新幹線で南九州へ」の取材に協力し、「九州新幹線で鹿児島へ」の標題の記事で、鹿児島エリアの観光スポットの魅力のPRを行いました。

取材は、仙巖園、やひろ食堂、鮨匠のむら、ZOO L、GOOD NEIGHBORS、中川屋などで行い、9月1日発行の集英社「エクラ」10月号（6万部発行）で紹介されました。



○ 文芸春秋社取材協力・特集発行（9月）

文芸春秋社「クレアトラベラー」の特集「南九州鉄道の旅」の取材に協力し、鉄道の旅を中心として、熊本エリア（天草、人吉）、鹿児島エリア（鹿児島、指宿、霧島）の観光スポット、グルメのPRを行いました。

取材は熊本エリアで「きじ馬」「Kura-蔵 Cafe」「阿蘇青井神社」「あゆの里海鮮蔵」「奴寿司」「五足のくつ」「ひらはた」、鹿児島エリアでは「横川げたんは」「妙見山荘」「霧島神宮」「花ん華」「ホテル南州館」「西大山駅」「薩摩伝承館」「温たまらん井」などで行い、9月10日発行の文芸春秋社「クレアトラベラー」9月号（6万部発行）で紹介されました。



○ 中国地域メディアとタイアップした九州の旅番組を制作・放映（9月）

テレビ新広島とタイアップして、九州7県の旅番組「ぐるっと九州まるかじり親孝行下見ツアー（85分）」を制作し、9月10日に中国・四国地域のローカル局及び全国ネットのBSフジで放映されました。撮影にあたっては、地元の観光協会等から全面的な協力を得て、オーソドックスな観光情報から地元ならではのレア情報までを網羅する充実した内容となりました。

また、番組放映に合わせて旅行会社が秋の旅行商品を造成し、テレビ新広島を中心にCM放映を9月に集中的に流しており、中国・四国地方からのさらなる誘客に繋がるものと期待されます。

○ 2011年度「九州さるく」を実施（9月）

九州では、2011年1月現在、301の観光ボランティアガイド団体（日本観光振興協会調査）があり、当機構は、このようなガイド団体の活動の場を増やすとともに、ガイドツアーを通じて地域資源の再認知・再発掘に努め地域の魅力を高めることなどを目的として、九州の観光ボランティアガイドによる、まち歩き定時ツアー「九州さるく」を実施しています。

2010年度では、約15万9千人（前年度比6万3千人増）のお客様がこのまち歩き定時ツアーを利用されており、2011年度は、今年7月～8月にかけて募集を行い、昨年度より6団体増の75団体が参加して実施しています（9月30日にニュースリリース）。詳細は当機構HP「九州さるく」もしくは携帯サイトをご覧ください。

<http://www.welcomekyushu.jp/saruku/>



「九州さるく」PRチラシ

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

- | | | |
|----------------|-----|-------------------|
| ・ J R九州高速船株式会社 | 所在地 | 福岡県福岡市博多区沖浜町11-10 |
| | 代表者 | 代表取締役社長 町 孝 |

○ 人事往来

本年10月1日付で事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

【転入者】 [] 内は派遣元

- | | | |
|-----------|--------|---------------|
| 企画部次長 | 豊島 茂 | [株式会社リクルート] |
| 国内誘致推進部次長 | 近藤 慎一郎 | [ANAセールス株式会社] |

○ 10月以降の主な予定

- ・「来て見て食べて感動！九州観光・物産フェア with東北 2011」開催（10月8日～10日：東京）
- ・韓国「第8回日本歌謡大会」協賛（10月8日：釜山広域市）
- ・シンガポール「平成23年度VJ中央事業（JAPAN TRAVEL& FOOD FAIR 2011）」出展（10月8日～9日）
- ・中国・西日本広域ルートテーマとしたメディア招請（10月11日～13日：九州各地）
- ・インドネシア「TTC TRAVEL MART INTERNATIONAL 2011」出展（10月12日：ジャカルタ市）
- ・台湾・イベント開催に合わせた九州観光PR（10月12日～24日：台北市）
- ・「平成24年度上期観光素材説明会・相談会」開催（10月20日：東京、25日：大阪、11月24日：広島、29日：福岡）
- ・韓国「ビジット・ジャパン九州観光説明会・商談会」開催（10月20日：ソウル特別市）
- ・台湾・メディア（テレビ番組）招請（10月22日～27日：九州各地）
- ・香港・日本文化協会（Japan Society）イベント活用情報発信（10月23日：香港）
- ・2011年度「第2回評議員会」開催（10月26日：福岡市）
- ・鉄道タイアップ「JRエージェンツ現地研修」実施（10月27日～28日：天草、阿蘇・高千穂）
- ・中国「国際旅游交易会（CITM2011）」出展（10月27日～30日：昆明市）
- ・タイ「トラベラーズコンパニオン」誌招請（11月1日～7日：九州各地）
- ・中国「九州インバウンドビジネスフォーラム2011」開催（11月4日～9日：九州各地）
- ・「福岡県・バンコク都友好提携5周年記念事業」出展（11月9日～13日：バンコク市）
- ・2011年度「第2回理事会」開催（11月10日：福岡市）
- ・シンガポール「クルーズ・ SHIPPING・アジア2011」出展（11月16日～18日：シンガポール）
- ・「九州各県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」開催（11月18日：福岡市）
- ・「VISIT JAPAN トラベルマート2011」出展（11月22日～23日：横浜市）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp